

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月5日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の排水中止について】 平成31年2月2日予定の地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の排水が、一時貯留タンクグループ1の残水混入の可能性ありのため中止。 原因調査中。	GⅡ	2月2日
2	【プロセス主建屋の滞留水水位計②の指示変動について】 プロセス主建屋の滞留水水位計②の指示値の変動を確認。 水位計の固定不良によるものと判明。水位計の再固定を実施。 対策検討中。	GⅢ	1月31日
3	【運用補助共用施設電源点検時の消防設備警報の未復旧について】 運用補助共用施設電源点検作業に伴い、電源切替時に発生する「消防ポンプ電源異常」警報が、作業終了後も継続。 作業終了に伴い警報は自動復旧するものと誤認し、緊急時対策室に連絡。その後手動にて復旧。	GⅢ	2月1日